

令和3年10月26日

千葉市長 神 谷 俊 一 様

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会
会 長 石 井 慎 一

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和3年7月1日付け3千都都総第221号で諮問のありました標記の件について、別紙のスポーツ部会からの報告のとおり答申します。

令和3年10月26日

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会

会長 石井 慎一 様

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会

スポーツ部会

部会長 石井 慎一

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

令和3年7月1日付け3千都総第221号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり決定したので報告します。

記

1 年度評価

（1）千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）

ア 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

イ 部会の意見

（ア）成果指標のうち、利用者数、来場者数の達成率は低くなっているが、これは観客の上限の設定やコンサートの中止など新型コロナウイルス感染症対策に伴う制限の影響によるものであり、制限がある中で行われたプロ野球興行の動員率は高いものとなっており、市による評価のとおり優れた管理運営が行われていると認められる。

（イ）アンケートは、その結果を上手く活用できるよう項目を設定し、プロモーションも含め、どのようなことを実施すると利用者や市民、ファンが喜ぶか、より良いサービスにつなげる取組みとして実施していただきたい。

（ウ）市の施設として、プロ野球の興行だけでなく、新型コロナウイルス感染症対策に伴う制限の中においても、引き続き、一般の利用者の利用について注力していただくとともに、地域の活力となる取組みについても検討していただきたい。

（エ）事業計画書からの費目の見直しを2年続けて同様の項目にて行っている。事業報告書において変更するのではなく、予め実際の管理運営の状況を反映させた事業計画書を作成していただきたい。

また、年度評価シートにおいて、成果指標の稼働率の計算方法や利益還元算定の対象について、明示されたい。

- (2) 千葉市蘇我スポーツ公園「蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（フクダ電子グラウンド）、円形野球場（フクダ電子スタジアム）、第1、第2、第3駐車場、公園園地」

ア 指定管理者 SSP UNITED

イ 部会の意見

(ア) 指定管理者が交代となった初年度であり、かつ新型コロナウイルス感染症の影響により、当初、円滑な運営に課題もあったが、その後改善されており、おおむね市が指定管理者に求める水準に即した、良好な管理運営が行われていると認められる。引き続き、指定管理者の各構成団体が連携し、興行と一般の利用、その他公園部分の管理のいずれもしっかりと偏ることなく適切な管理運営を行っていただきたい。

(イ) 日陰が少ないというアンケート結果もあることから、屋根の設置や注意喚起なども含め、利用者が熱中症等にならないように配慮していただきたい。

(ウ) 本件施設は、様々な施設が複合的にあることが強み（特徴）であり、それぞれの施設においてファン層を拡大しながら、多方面からプロモーションをしつつ、顧客層の拡大・開拓に努めていただきたい。

また、スポーツ実施率を上げる観点から、リピーターの獲得だけでなく、一人でも多くの方が運動する機会を増やす取組みについても、今後、検討していただきたい。

(エ) 本件施設は、それぞれ施設の特性が異なるほか、平日と土日・祝日では稼働率が大きく異なっており、その点について分析した結果を年度評価シートなどに明示されたい。

(オ) ビジョンにある、地域コミュニティとして交流機能を発揮する拠点としての施設を目指す取組みがあまり見受けられないことから、具体的な取組みについて検討されたい。

(カ) 千葉市蘇我スポーツ公園の供用エリアは拡大しているが、指定管理者だけでは対応できない更衣室やコインロッカー等の設備、施設そのものの改修については、採算性や費用とのバランス等を考慮した上で、市で対応を検討されたい。